(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2017-219752
(P2017-219752A)
(43)公開日　平成29年12月14日(2017.12.14)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
G09F 3/00	(2006.01)	G09F 3/00	D	
G09F 3/02	(2006.01)	G09F 3/02	A	
B42D 11/00	(2006.01)	B42D 11/00	E	

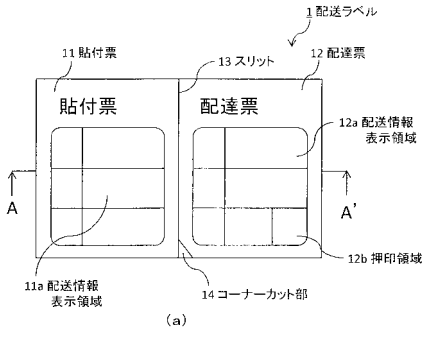
審査請求 未請求　請求項の数 3　ＯＬ　（全 11 頁）

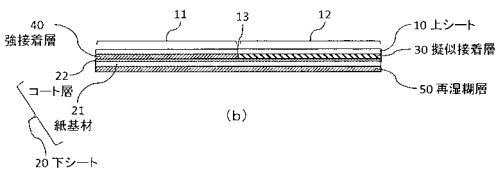
(21)出願番号　特願2016-115161 (P2016-115161)
(22)出願日　平成28年6月9日 (2016.6.9)

(71)出願人　000110217
トッパン・フォームズ株式会社
東京都港区東新橋一丁目７番３号
(74)代理人　100123788
弁理士　宮崎　昭夫
(74)代理人　100127454
弁理士　緒方　雅昭
(72)発明者　重見　一臣
東京都港区東新橋一丁目７番３号　トッパン・フォームズ株式会社内
(72)発明者　江▲崎▼　香
東京都港区東新橋一丁目７番３号　トッパン・フォームズ株式会社内

(54)【発明の名称】ラベル

(57)【要約】
【課題】２枚のシートが剥離可能に接着されたライナーレス形態のラベルにおいて、ロール状に巻き取られた状態から引き出される際に２枚のシートが不用意に剥離することを回避する。
【解決手段】配達票１２と下シート２０とがその全面にて剥離可能に擬似接着され、下シート２０の配達票１２との接着面とは反対側の面に、水分で活性化する再湿糊層５０が積層されている。
【選択図】図１





【特許請求の範囲】
【請求項１】
互いに剥離可能に擬似接着された第１及び第２のシートと、
前記第２のシートの前記第１のシートとの接着面とは反対側の面に積層され、水分で活性化する再湿糊層とを有し、
前記第２のシートは、その全面にて前記第１のシートと剥離可能に擬似接着されている、ラベル。
【請求項２】
請求項１に記載のラベルにおいて、
前記第２のシートは、耐水性を有する材料から構成されている、ラベル。
【請求項３】
請求項２に記載のラベルにおいて、
前記第２のシートは、紙基材の少なくとも一方の面に、樹脂材料からなるコート層が積層されてなる、ラベル。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、２枚のシートが剥離可能に接着されたライナーレス形態のラベルに関し、特に、ロール状に巻き取られた状態から引き出される際に２枚のシートが不用意に剥離してしまうことを回避する技術ラベルに関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、配送物を配送する場合、配送物の配送元及び配送先の住所や氏名あるいは名称等の配送情報が印字された配送ラベルが用いられ、配送情報が印字された配送ラベルが配送物に貼付され、配送ラベルに印字された配送情報に従って配送物が配送先に配送されている。
【０００３】
このような配送ラベルとしては、配送物が配送先に配送された後に配送業者が持ち帰る配達票が分離可能に区画形成されているものが用いられている。この配送ラベルを用いた場合、配送物が配送先に配送されると、配達票に受領印が押下され、配達票が配送ラベルから分離されて配送業者によって持ち帰られることにより、配送物が配送先に配送されたことが管理されることになる。
【０００４】
上述したように配達票を配送ラベルから分離して持ち帰るために、配送ラベルを２枚のシートが重ね合わせて接着された構成とし、そのうち、配達票となる領域のみについて２枚のシートが剥離可能となったものが一般的に用いられている。
【０００５】
図８は、従来の配送ラベルの一例を示す図であり、（ａ）は表面図、（ｂ）は（ａ）に示したＡ－Ａ’断面図である。
【０００６】
本例における配送ラベルは図８に示すように、上シート２１０と下シート２２０とが重ね合わされて接着され、下シート２２０の上シート２１０との接着面とは反対側の面に剥離紙２６０が剥離可能に接着されて構成されている。
【０００７】
上シート２１０は、貼付票２１１と配達票２１２とがスリット２１３を介して分離可能に連接して構成されている。貼付票２１１及び配達票２１２のそれぞれには、この配送ラベル２０１が貼付される配送物の配送元及び配送先の住所や氏名あるいは名称等の配送情報が記入あるいは印字される配送情報表示領域２１１ａ，２１２ａが設けられており、配達票２１２にはさらに、配送物が配送先に届けられた際に受領印を押下するための押印領域２１２ｂが設けられている。上シート２１０の貼付票２１１となる領域においては、下

シート２２０との接着面に強接着層２４０が積層されており、それにより、貼付票２１１と下シート２２０とが強接着されている。また、上シート２１０の配達票２１２となる領域においては、下シート２２０との接着面に擬似接着層２３０が積層されており、それにより、配達票２１２と下シート２２０とが剥離可能に接着されている。また、上シート２１０の配達票２１２となる領域においては、スリット２１３に沿う角部が三角形に切り欠かれることでコーナーカット部２１４が設けられている。

【０００８】

下シート２２０は、上シート２１０との接着面とは反対側の面の全面に強接着層２５０が積層されており、この強接着層２５０を介して剥離紙２６０が剥離可能に接着されている。

【０００９】

上記のように構成された配送ラベル２０１においては、剥離紙２６０を剥離することで強接着層２５０を表出させ、表出した強接着層２５０によって配送物に貼付することになる。そして、配送物が配送先に届けられた後、押印領域２１２ｂに受領印が押下され、配達票２１２が下シート２２０から剥離されることで配送ラベル２０１から分離されて配送業者によって持ち帰られることになる。

【００１０】

このように、配送物に貼付される下シート２２０に上シート２１０が接着された構成とした上で、上シート２１０のうち配達票２１２となる領域を下シート２２０から剥離可能なものとしておくことにより、配送物に貼付された配送ラベル２０１から配達票２１２のみを分離することができるようになる。

【００１１】

近年、上述したようなラベルをロール状に巻き取って保管する構成とすることにより、使用時に剥離紙によるごみを発生させなくすることができるライナーレス形態のラベルが考えられている（例えば、特許文献１，２参照）。このライナーレス形態のラベルにおいては、２枚のシート基材が剥離可能に接着されて構成され、一方の表面に接着層が積層されるとともに、他方の表面に剥離層が積層され、それにより、ロール状に巻き取られた状態においては、配送ラベルがその１周内側の領域に剥離可能に接着されているものとなり、ロール状から引き出して接着層によって配送物等に貼付することができる。

【先行技術文献】

【特許文献】

【００１２】

【特許文献１】特開２０１４－１７４５２２号公報

【特許文献２】特開２０１４－１７４５２３号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【００１３】

しかしながら、上述したようなライナーレス形態のラベルにおいては、ロール状に巻き取られた状態ではラベル同士が接着層及び剥離層によって剥離可能に接着されているとともに、ラベルを構成する２枚のシートも剥離可能に接着されているため、ロール状から引き出される際に、引き出そうとするラベルとその１周内側の領域が剥離せずに、２枚のシートが剥離してしまう虞がある。特に、２枚のシートがその一部にて剥離可能に接着されている場合、２枚のシートが剥離してしまう可能性が高くなる。

【００１４】

本発明は、上述したような従来の技術が有する問題点に鑑みてなされたものであって、２枚のシートが剥離可能に接着されたライナーレス形態のラベルにおいて、ロール状に巻き取られた状態から引き出される際に２枚のシートが不用意に剥離することを回避することができる、ラベルを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【００１５】

上記目的を達成するために本発明は、
互いに剥離可能に擬似接着された第１及び第２のシートと、
前記第２のシートの前記第１のシートとの接着面とは反対側の面に積層され、水分で活性化する再湿糊層とを有し、
前記第２のシートは、その全面にて前記第１のシートと剥離可能に擬似接着されている。

【００１６】
上記のように構成された本発明においては、被着体に貼付するための接着層として、水分で活性化する再湿糊層を用いることで、ロール状に巻き取って保管する場合であっても、ラベルがその１周内側の領域と接着されておらず、それにより、ロール状から引き出される際、剥離可能に接着された第１のシートと第２のシートとが不用意に剥離してしまうことが回避される。また、第１のシートと第２のシートとがその全面にて剥離可能に擬似接着されていることによっても、第１のシートと第２のシートとが不用意に剥離してしまうことが回避される。

【００１７】
また、再湿糊層は、第２のシートの第１のシートとの接着面とは反対側の面に積層されているが、第２のシートが耐水性を有する材料から構成されていることで、再湿糊層を活性化するために第２のシートの再湿糊層が積層された面に水分が付与された場合であっても、その水分が第２のシートを介して第１のシートとの接着面まで浸透しにくくなり、それにより、第１のシートと第２のシートとの間における擬似接着機能に水分による悪影響が生じて第１のシートと第２のシートとを必要時にきれいに剥離することができなくなってしまうことが回避される。

【００１８】
また、第２のシートとして、紙基材の少なくとも一方の面に、樹脂材料からなるコート層が積層されてなるものが考えられる。

【発明の効果】

【００１９】
本発明によれば、第１のシートと第２のシートとがその全面にて剥離可能に擬似接着されており、かつ、水分で活性化する再湿糊層が、被着体に貼付するための接着層として第２のシートの第１のシートとの接着面とは反対側の面に積層されているため、ロール状に巻き取られた状態から引き出される際に剥離可能に擬似接着された２枚のシートが不用意に剥離することを回避できる。

【００２０】
また、第２のシートが耐水性を有する材料から構成されているものにおいては、再湿糊層を活性化するために第２のシートの再湿糊層が積層された面に水分が付与された場合であっても、その水分が第１のシートと第２のシートとの擬似接着面まで浸透しにくくなり、必要時に２枚のシートをきれいに剥離することができる。

【図面の簡単な説明】

【００２１】
【図１】本発明のラベルの第１の実施の形態を示す図であり、（ａ）は表面図、（ｂ）は（ａ）に示したＡ－Ａ’断面図である。
【図２】図１に示した配送ラベルを保管状態から使用可能な状態とするまでの工程を説明するための図である。
【図３】図１に示した配送ラベルに水分が吹き付けられた際の作用を説明するための図である。
【図４】図１に示した配送ラベルを配送物に貼付した後の使用方法を説明するための図である。
【図５】本発明のラベルの第２の実施の形態を示す図であり、（ａ）は表面図、（ｂ）は（ａ）に示したＡ－Ａ’断面図である。
【図６】図５に示した配送ラベルに水分が吹き付けられた際の作用を説明するための図で

ある。
【図７】図５に示した配送ラベルを配送物に貼付した後に貼付票を分離していく際の状態を示す図である。
【図８】従来の配送ラベルの一例を示す図であり、（ａ）は表面図、（ｂ）は（ａ）に示したＡ－Ａ’断面図である。
【発明を実施するための形態】
【００２２】
以下に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。
【００２３】
（第１の実施の形態）
図１は、本発明のラベルの第１の実施の形態を示す図であり、（ａ）は表面図、（ｂ）は（ａ）に示したＡ－Ａ’断面図である。
【００２４】
本形態は図１に示すように、上シート１０と下シート２０とが重ね合わされて接着されてなるライナーレス形態の配送ラベル１である。
【００２５】
上シート１０は、インクジェット印字や記入が可能な紙または感熱紙等からなり、貼付票１１と配達票１２とがスリット１３を介して分離可能に連接して構成されている。貼付票１１及び配達票１２のそれぞれには、この配送ラベル１が貼付される配送物の配送元及び配送先の住所や氏名あるいは名称等の配送情報が記入あるいは印字される配送情報表示領域１１ａ，１２ａが設けられており、配達票１２にはさらに、配送物が配送先に届けられた際に受領印を押下するための押印領域１２ｂが設けられている。上シート１０の貼付票１１となる領域においては、下シート２０との接着面の全面に強接着層４０が積層されており、それにより、貼付票１１と下シート２０とが剥離困難に接着されている。なお、剥離困難とは、人間の手によって基材を剥離した場合に、上シート１０や下シート２０自体が裂かれたり厚み方向に分割されたりする程度に強接着されていることである。また、上シート１０の配達票１２となる領域においては、下シート２０との接着面の全面に擬似接着層２３０が積層されており、それにより、配達票１２と下シート２０とが剥離可能に擬似接着されている。また、上シート１０の配達票１２となる領域においては、スリット１３に沿う角部が三角形に切り欠かれることでコーナーカット部１４が設けられている。
【００２６】
下シート２０は、紙基材２１の一方の面に、アクリル系ニス等の樹脂材料からなるコート層２２が積層されて構成されており、それにより、耐水性を有する材料から構成されている。下シート２０は、コート層２２側の面が上シート１０と接着されており、紙基材２１のコート層２２とは反対側の面の全面には、ＰＶＡ（polyvinyl alcohol）系接着剤等からなる再湿糊が塗工されることで再湿糊層５０が積層されている。
【００２７】
上記のように構成された配送ラベル１においては、上シート１０のうち配達票１２となる領域が本発明の第１のシートとなり、下シート２０のうち配達票１２が剥離可能に接着された領域が本発明における第２のシートとなり、上シート１０の配達票１２となる領域と、下シート２０及び再湿糊層５０の配達票１２に対向する領域と、擬似接着層３０とから、本発明のラベルが構成されている。
【００２８】
本形態における配送ラベル１は、擬似接着層３０及び強接着層４０を介して上シート１０と下シート２０とを接着するとともに、下シート２０の上シート１０との接着面とは反対側の面に再湿糊層５０を積層することで製造される。この際、擬似接着層３０や強接着層４０を構成する接着剤が乾燥していない状態においては、接着剤に含まれる水分が下シート２０を介して再湿糊層５０まで浸透してしまうと、再湿糊層５０の接着機能に悪影響が生じてしまう。また、再湿糊層５０を構成する再湿糊が乾燥していない状態においては、再湿糊に含まれる水分が下シート２０を介して擬似接着層３０まで浸透してしまうと、

擬似接着層３０の擬似接着機能に悪影響が生じてしまう。

【００２９】

ところが、本形態の配送ラベル１においては、下シート２０が、紙基材２１にコート層２２が積層されて構成されているため、配送ラベル１の製造時において、擬似接着層３０や強接着層４０を構成する接着剤に含まれる水分が下シート２０を介して再湿糊層５０まで浸透したり、再湿糊層５０を構成する再湿糊に含まれる水分が下シート２０を介して擬似接着層３０まで浸透したりすることが回避されることになる。

【００３０】

以下に、上記のように構成された配送ラベル１の使用形態について説明する。

【００３１】

図２は、図１に示した配送ラベル１を保管状態から使用可能な状態とするまでの工程を説明するための図である。

【００３２】

図１に示した配送ラベル１は図２（ａ）に示すように、連続状となってロール１ａとして巻き取られて保管されており、使用時に引き出されていく。その際、配送ラベル１は被着体となる配送物に貼付するための接着層として再湿糊層５０が用いられており、ロール１ａとして巻き取られた状態においては、水分によって再湿糊層５０が活性化されていないため、配送ラベル１がその１周内側の領域と接着されていない。そのため、配送ラベル１が引き出されていく際、剥離可能に擬似接着された配達票１２と下シート２０とが不用意に剥離してしまうことが回避される。また、剥離可能に接着された配達票１２と下シート２０とが、その全面にて擬似接着層３０によって剥離可能に擬似接着されていることによっても、配達票１２と下シート２０とが不用意に剥離してしまうことが回避される。

【００３３】

ロール１ａから引き出された配送ラベル１は、図２（ｂ）に示すように、断裁刃２によって図１に示した単片状に断裁される。

【００３４】

そして、単片状に断裁された配送ラベル１の再湿糊層５０が積層された面側から、図２（ｃ）に示すように、霧吹き器３によって水分３ａが吹き付けられる。配送ラベル１の再湿糊層５０が積層された面側から水分３ａが吹き付けられると、再湿糊層５０が活性化し、配送ラベル１が再湿糊層５０によって配送物に貼付可能な状態となる。

【００３５】

図３は、図１に示した配送ラベル１に水分が吹き付けられた際の作用を説明するための図であり、配達票１２側の断面図を示す。

【００３６】

配送ラベル１の再湿糊層５０が積層された面側から水分３ａが吹き付けられると、図３に示すように、吹き付けられた水分３ａが紙基材２１側から浸透していく。そのため、紙基材２１に浸透した水分３ａが擬似接着層３０まで浸透した場合、擬似接着層３０の擬似接着機能に悪影響が生じ、その後、上シート１０の配達票１２となる領域と下シート２０とが剥離できなくなってしまう場合がある。ところが、紙基材２１の上シート１０との接着面側にはコート層２２が積層されているため、紙基材２１を浸透した水分３ａがコート層２２から上シート１０側には浸透しにくくなり、それにより、擬似接着層３０の擬似接着機能に水分３ａによる悪影響が生じることを回避できる。

【００３７】

図４は、図１に示した配送ラベル１を配送物に貼付した後の使用方法を説明するための図である。

【００３８】

上記のように配送ラベル１の再湿糊層５０が積層された面側から水分３ａが吹き付けられることにより再湿糊層５０が活性化した後、図４（ａ）に示すように、活性化した再湿糊層５０を用いて配送ラベル１を配送物４に貼付する。

【００３９】

配送ラベル１が貼付された配送物４は、配送情報表示領域１１ａ，１２ａに記入あるいは印字された配送情報１１ｃ，１２ｃに従って配送先に配送されていく。

【００４０】

配送物４が配送先に届けられ、図４（ｂ）に示すように、配達票１２の押印領域１２ｂに受領印１２ｄが押下された後、コーナーカット部１４を摘み代とすることで配達票１２が下シート２０から剥離されていく。配達票１２は擬似接着層３０によって下シート２０と剥離可能に擬似接着されており、また、配達票１２と貼付票１１とはスリット１３を介して分離可能に連接しているため、配達票１２のみを貼付票１１から分離して下シート２０から剥離することができる。この際、上述したように、配送ラベル１の再湿糊層５０が積層された面側から水分３ａが吹き付けられたものの、擬似接着層３０の擬似接着機能に水分３ａによる悪影響が生じることが回避されているため、図４（ｃ）に示すように、配達票１２と下シート２０とをきれいに剥離することができる。

【００４１】

このようにして配送ラベル１から分離された配達票１１は、配送業者によって持ち帰られ、配送物４が配送先に届けられた旨が管理されることになる。

【００４２】

上述したように本形態においては、下シート２０と接着された上シート１０のうち配達票１２となる領域が擬似接着層３０によって下シート２０と剥離可能に擬似接着された構成において、配送物４に貼付するための接着層として再湿度糊層５０を用いることにより、連続状となってロールとして巻き取られて保管しておく場合であっても、配送ラベル１がその１周内側の領域と接着されていないことで、配送ラベル１が引き出されていく際、剥離可能に擬似接着された配達票１２と下シート２０とが不用意に剥離してしまうことが回避される。また、剥離可能に擬似接着された配達票１２と下シート２０とが、その全面にて擬似接着層３０によって剥離可能に接着されていることによっても、配達票１２と下シート２０とが不用意に剥離してしまうことが回避される。さらに、配送物４に貼付する際に再湿糊層５０を活性化するために下シート２０側から水分が付与されるものの、下シート２０が紙基材２１にコート層２２が積層された耐水性を有する材料から構成されるものであるため、擬似接着層３０の擬似接着機能に水分による悪影響が生じることが回避されており、配達票１２と下シート２０とをきれいに剥離することができる。

【００４３】

なお、本形態は、紙基材２１の上シート１０との接着面側にコート層２２が積層されているが、コート層２２は、紙基材２１の再湿糊層５０側に積層されていてもよいし、紙基材２１の両面に積層されていてもよい。

【００４４】

また、下シート２０の上シート１０との接着面に剥離層を積層することで配達票１２のみならず貼付票１１も下シート２０から剥離可能とし、貼付票１１を下シート２０から剥離した後に強接着層４０によって貼付可能なものとしてもよい。

【００４５】

（第２の実施の形態）

図５は、本発明のラベルの第２の実施の形態を示す図であり、（ａ）は表面図、（ｂ）は（ａ）に示したＡ－Ａ’断面図である。

【００４６】

本形態は図５に示すように、第１の実施の形態にて示した配送ラベル１に対して、第１のシートとなる上シート１１０に、第２のシートとなるフィルム層１２０が剥離可能に接着され、フィルム層１２０の上シート１１０との接着面とは反対側の面に再湿糊層１５０が積層されている点が異なる配送ラベル１０１である。

【００４７】

フィルム層１２０は、上シート１１０の裏面に、例えばポリプロピレンやオレフィン等を用いた押し出しラミネートによって形成されており、それにより、耐水性を有する材料から構成されている。

【００４８】
また、上シート１１０の配達票１１２となる領域に第１の実施の形態に示したものと同様にコーナーカット部１１４ａが設けられているとともに、上シート１１０の貼付票１１１となる領域にも、配達票１１２とは反対側の端辺に沿う角部が三角形に切り欠かれることでコーナーカット部１１４ｂが設けられている。
【００４９】
上記のように構成された配送ラベル１０１においても、被着体となる配送物に貼付するための接着層として再湿糊層１５０が用いられているため、ロール状に巻き取られた状態においては、再湿糊層１５０が水分によって活性化されていないことにより、配送ラベル１０１がその１周内側の領域と接着されていない。そのため、配送ラベル１０１が引き出されていく際、剥離可能に擬似接着された上シート１１０とフィルム層１２０とが不用意に剥離してしまうことが回避される。また、上シート１１０とフィルム層１２０とが、その全面にて剥離可能に擬似接着されていることによっても、上シート１１０とフィルム層１２０とが不用意に剥離してしまうことが回避される。
【００５０】
そして、ロール状から引き出されて単片状に断裁された後、配送ラベル１０１の再湿糊層１５０が積層された面側から水分が吹き付けられることで、再湿糊層１５０が活性化し、配送ラベル１０１が再湿糊層１５０によって配送物に貼付可能な状態となる。
【００５１】
図６は、図５に示した配送ラベル１０１に水分が吹き付けられた際の作用を説明するための図であり、一部の断面図を示す。
【００５２】
配送ラベル１０１の再湿糊層１５０が積層された面側から水分１０３ａが吹き付けられると、図６に示すように、再湿糊層１５０がフィルム層１２０に積層されていることから、吹き付けられた水分１０３ａはフィルム層１２０から上シート１１０側には浸透しにくくなり、それにより、フィルム層１２０の上シート１１０との接着面における擬似接着機能に水分１０３ａによる悪影響が生じることが回避される。
【００５３】
上記のように再湿糊層１５０が積層された面側から水分１０３ａが吹き付けられることにより再湿糊層１５０が活性化した配送ラベル１０１は、第１の実施の形態にて示したものと同様に、活性化した再湿糊層１５０を用いて配送物に貼付される。
【００５４】
そして、配送物が配送先に届けられ、配達票１１２の押印領域１１２ｂに受領印が押下された後、コーナーカット部１１４ａを摘み代とすることで配達票１１２がフィルム層１２０から剥離されていく。配達票１１２はフィルム層１２０と剥離可能に擬似接着されており、また、配達票１１２と貼付票１１１とはスリット１１３を介して分離可能に連接しているため、配達票１１２のみを貼付票１１１から分離してフィルム層１２０から剥離することができる。この際、上述したように、配送ラベル１０１の再湿糊層１５０が積層された面側から水分１０３ａが吹き付けられたものの、フィルム層１２０の上シート１１０との接着面における擬似接着機能に水分１０３ａによる悪影響が生じることが回避されているため、配達票１１１とフィルム層１２０とをきれいに剥離することができる。
【００５５】
本形態においては、配達票１１２のみならず貼付票１１１もフィルム層１２０に剥離可能に擬似接着されているため、上述したように配達票１１２を配送ラベル１０１から分離した後、貼付票１１１も配送ラベル１０１から分離することができる。
【００５６】
図７は、図５に示した配送ラベル１０１を配送物に貼付した後に貼付票１１１を分離していく際の状態を示す図である。
【００５７】
図７（ａ）に示すように配達票１１２が配送ラベル１０１から分離された後、図７（ｂ

）に示すように、コーナーカット部１１４ｂを摘み代とすることで貼付票１１１がフィルム層１２０から剥離されていく。配達票１１２はフィルム層１２０と剥離可能に擬似接着されているため、貼付票１１１をフィルム層１２０から剥離することができる。この際、上述したように、配送ラベル１０１の再湿糊層１５０が積層された面側から水分１０３ａが吹き付けられたものの、フィルム層１２０の上シート１１０との接着面における擬似接着機能に水分１０３ａによる悪影響が生じることが回避されているため、貼付票１１１とフィルム層１２０とをきれいに剥離することができる。

【００５８】

このように、配達票１１２のみならず貼付票１１１も配送ラベル１０１から分離することで、貼付票１１１の配送情報表示領域１１１ａに印字または記入された配送情報１１１ｃの漏洩を回避することができる。

【００５９】

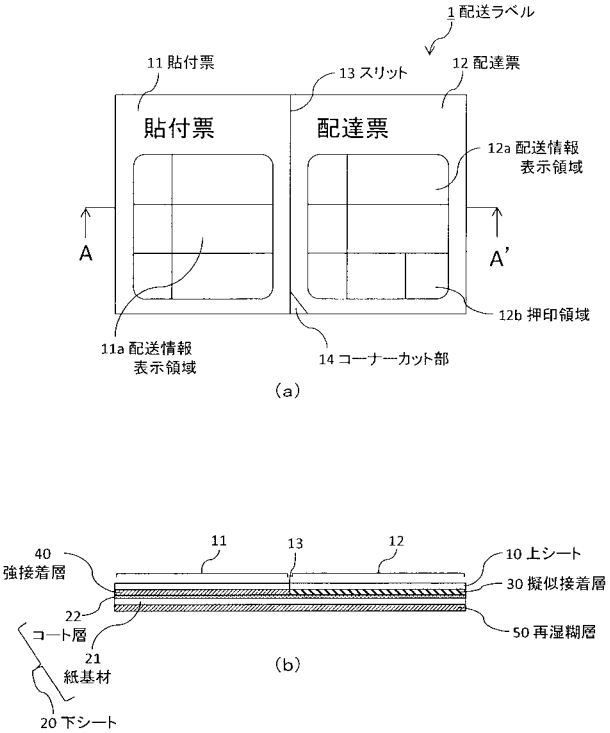
なお、上述した実施の形態においては、ラベルを配送ラベル１，１０１に適用した例を挙げて説明したが、配送ラベル以外にも、長尺状にして、段ボール等の封緘用ラベルとしてもよい。また、その一部のみに、宛名情報を印刷する等してもよい。

【符号の説明】

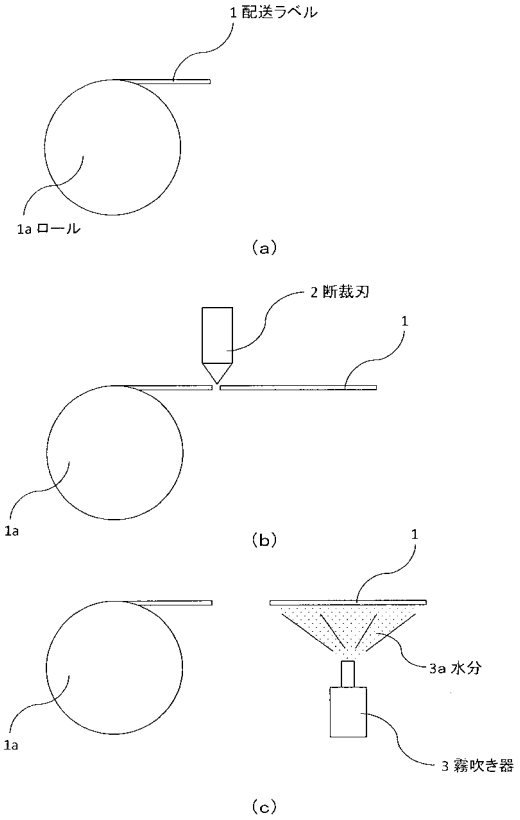
【００６０】

１，１０１　配送ラベル
１ａ　ロール
２　断裁刃
３　霧吹き器
３ａ，１０３ａ　水分
４，１０４　配送物
１０，１１０　上シート
１１，１１１　貼付票
１１ａ，１２ａ，１１１ａ，１１２ａ　配送情報表示領域
１１ｃ，１２ｃ，１１１ｃ　配送情報
１２，１１２　配達票
１２ｂ，１１２ｂ　押印領域
１２ｄ　受領印
１３，１１３　スリット
１４，１１４ａ，１１４ｂ　コーナーカット部
２０　下シート
２１　紙基材
２２　コート層
３０　擬似接着層
４０　強接着層
５０，１５０　再湿糊層
１２０　フィルム層

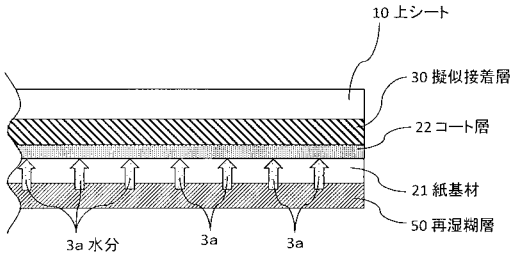
【図１】


1 配送ラベル
11 貼付票
13 スリット
12 配達票
貼付票
配達票
12a 配送情報
表示領域
A
A'
12b 押印領域
11a 配送情報
表示領域
14 コーナーカット部
(a)
40
強接着層
11
13
12
10 上シート
30 擬似接着層
22
コート層
21
紙基材
50 再湿糊層
20 下シート
(b)

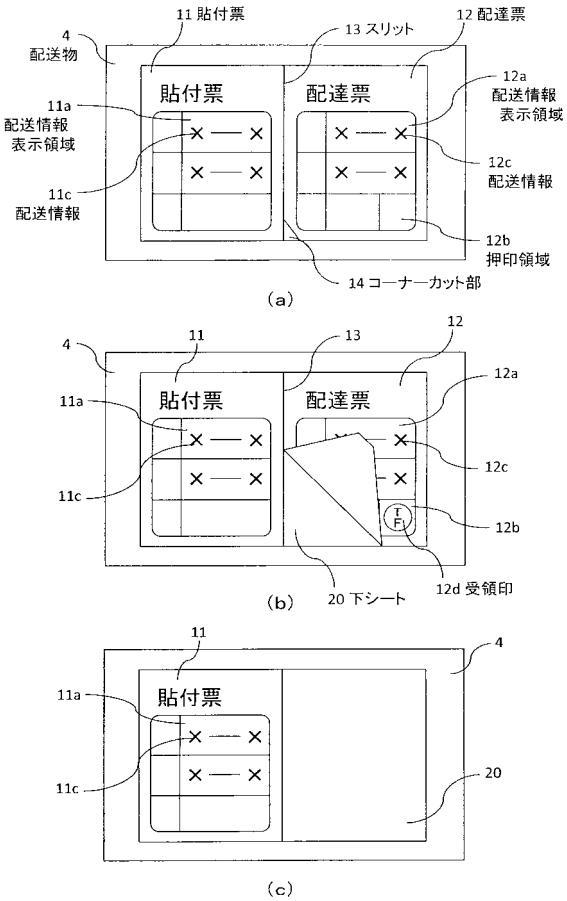
【図２】


1 配送ラベル
1a ロール
(a)
2 断裁刃
1
1a
(b)
1
3a 水分
1a
3 霧吹き器
(c)

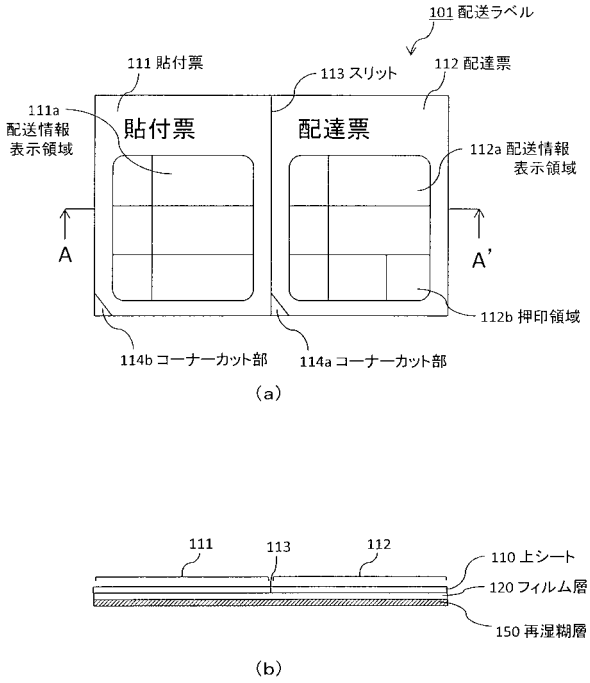
【図３】


10 上シート
30 擬似接着層
22 コート層
21 紙基材
50 再湿糊層
3a 水分
3a
3a

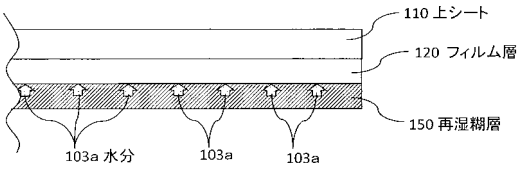
【図４】


11 貼付票
13 スリット
12 配達票
4
配送物
貼付票
配達票
12a
配送情報
表示領域
11a
配送情報
表示領域
12c
配送情報
11c
配送情報
12b
押印領域
14 コーナーカット部
(a)
4
11
13
12
貼付票
配達票
12a
11a
12c
11c
12b
20 下シート
12d 受領印
(b)
11
貼付票
4
11a
11c
20
(c)

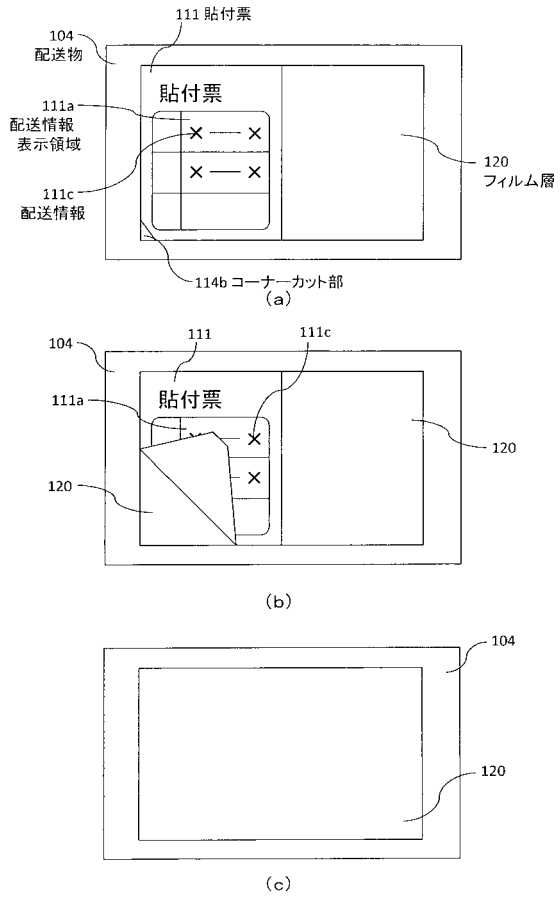
【図５】


101 配送ラベル
111 貼付票
113 スリット
112 配達票
111a
配送情報
表示領域
貼付票
配達票
112a 配送情報
表示領域
A
A'
112b 押印領域
114b コーナーカット部
114a コーナーカット部
(a)
111
113
112
110 上シート
120 フィルム層
150 再湿糊層
(b)

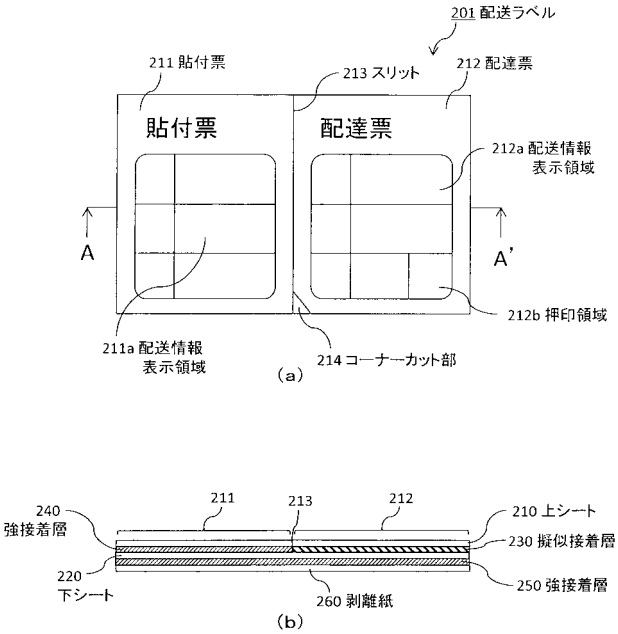
【図６】


110 上シート
120 フィルム層
150 再湿糊層
103a 水分
103a
103a

【図７】


111 貼付票
104
配送物
貼付票
111a
配送情報
表示領域
120
フィルム層
111c
配送情報
114b コーナーカット部
(a)
104
111
111c
貼付票
111a
120
120
(b)
104
120
(c)

【図８】


201 配送ラベル
211 貼付票
213 スリット
212 配達票
貼付票
配達票
212a 配送情報
表示領域
A
A'
212b 押印領域
211a 配送情報
表示領域
214 コーナーカット部
(a)
211
213
212
240
強接着層
210 上シート
230 擬似接着層
220
下シート
250 強接着層
260 剥離紙
(b)